

平成24年度定期作況報告

6月20日現在
道総研根釧農業試験場

気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬 :最高気温は15.8 で平年より1.1 高かったが最低気温が4.6 で平年並であったため、平均気温は10.2 で平年並であった。降水量は10mmで平年より35mm少なかった。日照時間は66.1時間で平年より17.4時間多かった。

6月上旬 :最高および最低気温が18.4および7.5 でそれぞれ平年並であったため、平均気温は13.0 で平年並であった。降水量は7mmで平年より11mm少なかった。日照時間は55.4時間で平年並であった。

6月中旬 :最高および最低気温が14.6および6.3 でそれぞれ平年より3.9および3.1 低かったため、平均気温は10.5 で平年より3.4 低かった。降水量は42mmで平年並であった。日照時間は26.1時間で平年より3.9時間少なかった。

この1ヶ月間は5月下旬の著しい少雨、6月中旬の著しい低温が特徴的で、総じて気温は低く、降水量は少なく、日照時間は平年並に推移した。

気象表

項目	5 月 下 旬			6 月 上 旬			6 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 ()	10.2	9.9	0.3	13.0	12.8	0.2	10.5	13.9	3.4	11.2	12.2	1.0
最高気温 ()	15.8	14.7	1.1	18.4	18.0	0.4	14.6	18.5	3.9	16.3	17.1	0.8
最低気温 ()	4.6	5.0	0.4	7.5	7.5	0.0	6.3	9.4	3.1	6.1	7.3	1.2
降水量 (mm)	10	45	35	7	18	11	42	41	1	59	104	45
降水日数 (日)	2	5.0	3.0	1	3.3	2.3	5	3.6	1.4	8	11.9	3.9
日照時間 (時間)	66.1	48.7	17.4	55.4	51.0	4.4	26.1	35.0	8.9	147.6	134.7	12.9

注1)平年値は前10カ年平均値

2)日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) は負の値を示す

当场作況

1. とうもろこし

作況： 平年並

事由 播種期は平年より1日早かった。その後の少雨によって地温が高まりやすい状態となり、出芽期は平年より3日早かった。

出芽後は低温、かつ少雨・短日照傾向で推移したため、とうもろこしの草丈および出葉数は、平年並にとどまっている。

これらのことから、目下の作況は平年並と判断される。

品 種 名	播種期(月日)		
	本年	平年	比較
たちぴりか	5.25	5.26	1

品 種 名	出芽期(月日)			草 丈 (cm)			出 葉 数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	6.6	6.9	3	17	-	-	3.6	-	-
(ぱぴりか	6.6	6.9	3	17	17	0	3.2	3.3	0.1)

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当场のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 「たちぴりか」は、草丈や出葉数といった一部項目について過去のデータ蓄積が不足しているため、参考として下段に、「ぱぴりか」における調査結果を記載する。

4) 「たちぴりか」および「ぱぴりか」の平年値は、ともに前7カ年のうち、最豊作の平成19年および最凶作の平成21年を除く5カ年の平均値である。

5) は減を表す。

2. 牧草

(1)採草型(チモシー単播)

作況：1番草並

事 由

本年の1番草は、6月20日現在、出穂期に達していないため、刈取りを行っていない。6月20日の草丈は平年に比べ2年目草地で2cm低く、3年目草地では同じであった。以上のことから本年の1番草の作況は平年並みと判断される。

草 地	6月20日草丈(cm)			1番草 出穂期(月.日)			1番草 刈取日(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	100	102	2	-	6.25	-	-	6.25	-
3年目	101	101	0	-	6.25	-	-	6.25	-

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成17～23年のうち最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値

3) は減を示す。

(2)放牧型(オーチャードグラス単播)

作況: 1番草 並

作況: 2番草 やや不良

事 由

1番草は草丈が平年より2年目草地で19cm高く、3年目草地で逆に3cm低かった。乾物収量は2年目草地で平年より40kg多く、3年目草地で逆に49kg/10a少なかった。3年目草地の草丈および収量が極端に低かったのは、冬損の程度が大きく回復が遅れていたためと考えられる。

2番草の6月20日現在の草丈は2年目草地で9cm、3年目草地で10cm低かった。

以上から、1番草は並、2番草の生育はやや不良と判断した。

草 地	1 番 草						2 番 草		
	刈取り月日			草 丈 (cm)			6月20日草丈 (cm)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	6. 1	6. 1	±0	63	44	19	41	50	9
3年目	6. 1	6. 1	±0	35	38	3	37	47	10

草 地	1 番 草					
	生草収量 (kg/10a)			乾物収量 (kg/10a)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
2年目	980	825	155	185	145	40
3年目	271	600	329	61	110	49

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値: 平成17~23年のうち最凶年と最豊年を除く5ヵ年平均値

3) は減を示す。